



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

たちばな

2023年3月24日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

学年のしめくくり 次は「あこがれを越えて」

本日、無事3学期の修了式を終えました。今年度は、行事が徐々に再開されるも、エンジン全開とはいかない一年でもありました。それでも保護者や地域の皆様には、終始本校教育にご理解ご協力をいただき、心より厚く感謝申し上げます。今日、達成感で笑顔いっぱいの子どもがたくさんいます。一方、笑顔の底に実は不安や悩みを抱えている子どももあるかもしれません。帰宅されましたら、お子さんのあるがままを、ぎゅっと抱きとめ、一年間その子なりに頑張れたことをたたえてあげてください。そして、温かい食べ物でお腹を満たして、お子さんの顔を見ながら話をたくさん聞いてください。それが次への意欲につながると思います。

6年生は22日、おかげさまで無事立花小学校を巣立っていきました。当日は雨の予報でしたが、朝から爽やかな晴天が広がり、桜も例年より早く開花し、何もかもが門出を祝福してくれているような日でした。校務員さんが何か月も前から丹精こめて作られた花々が体育館前をあざやかに彩り、校門前にはコミュニティ・スクールのグリーンサムの皆さんが作られた見事な花壇が出迎えます。式での6年生は態度も声も素晴らしく、特に証書授与では、一人ひとりがきちんと校長と目を合わせて証書を受け取りました。照れ臭いとか過度の緊張といった空気はなく、一瞬であっても達成感を味わい目で会話できた幸せな時間でした。授与の練習の回数が少なかったにもかかわらず、一連の動きが流れるように美しく堂々としたことに驚きましたが、これは毎朝校門で、一瞬足を揃え、目を合わせての挨拶を交わし続けてきたことが、見えない自信になっているのだと気づきました。式辞の中で、委員会活動などで学校のため、人のために懸命に働く6年生を下級生はカッコいいと感じていること、そして自分が高学年になった時には、もっと委員会活動を頑張るという流れができてきた、という意味の話をしました。高学年への憧れが原動力となり、子どもが主体性をもって学校が良くなっていくなんて、なんと素晴らしい学校で子どもたちだろうと感慨深く思う、令和4年度のしめくくりでした。

22日はワールドベースボールクラシックの決勝戦で日本が優勝した日でもあります。先ほど、憧れが原動力にと書きましたが、大谷翔平選手の試合前の言葉の深さに鳥肌が立ちました。「憧れるのをやめましょう。憧れては超えられない。」これはアメリカ代表チームを心の底から尊敬し憧れてきたからこそ出た言葉だと思います。視点は逆になりますが「青は藍より出でて藍より青し」という言葉も、弟子や子どもが、師や親を超えてさらに優秀になって羽ばたいていく様子を表しています。子どもたちには、どんどん私たちを超えて大きく羽ばたいてほしい、誰もが自己実現し幸せになれる社会をつくってほしいと、心から願っています。

本校は150周年を迎え、実行委員会の方々を中心に次年度秋の式典に向けて準備を進めています。また、市の幼保小連携モデル校として新入生のスタートカリキュラムや各学年との交流の取り組み、MIM多層指導モデルの実施、学校運営協議会の発足によるコミュニティ・スクール、文化庁によるオーケストラ演奏会なども経験できました。あまっ子ステップ・アップ調査でも成果を上げています。教員も関係機関や専門家による研修で、多様な子どもたちへの知識を広げ、理解を深めました。たくさんの体験や学びのあった今年度でした。

4月5日 新6年生登校日 7日 始業式・着任式 10日 入学式 11日 給食開始 12日 離任式
18日 6年全国学力学習状況調査 19日 参観・懇談(すみれ3・4H、4～6年5・6H) 1年給食開始
21日 参観・懇談(1年2・3H、2～3年5・6H) 25日～28日 家庭訪問

登校は安全のため、8:00～8:15に東門をくぐるようにご協力をお願いします。

4月7日(金)には、元気な子どもたちとフレッシュな出会いができることを楽しみにしています!